

「中国食品ビジネス先進事例視察 in 上海」 レポート



<視察者概要>


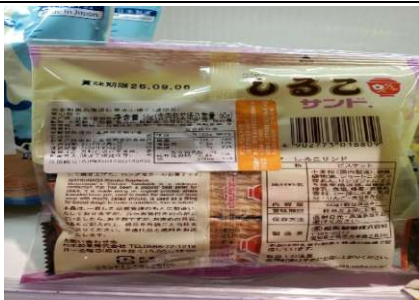
区 分	内 容
業 種	農家 ・ 製造業 ・ 商社 ・ 支援機関
品 目	物流業
輸 出 経 験	中国以外への経験あり・中国への経験あり（コロナ前のみ・現在も継続中）



<視察全体を通じた感想等>


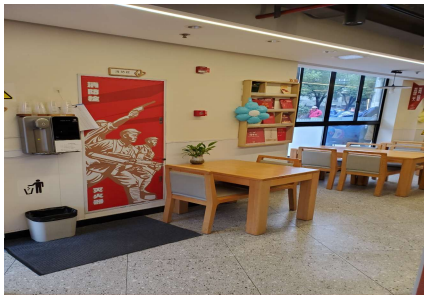
この度の中国上海市内での市場視察を通じて私自身、中国に対する意識の変化の機会となりました。今回初めて中国に訪問したのですが、これまでの私の中国に対するイメージはあまり良い印象を持っていませんでした。しかし、さすがは GDP 世界第 2 位の大都会、まるでニューヨークにいるような感覚でした。1980 年以降、急速に発展し、今なお発展し続けているエネルギーを感じることができました。特に電気自動車の普及が目覚ましく、国家プロジェクトとして世界シェア獲得を進めている様であり、街行く車を見ればまさにその通り見て取れました。私は物流事業を営んでおり、弊社の事業においても中国からタイヤ、原料資材を多く輸入し、それらを利用して事業を行っています。かつては中国産の製品には品質に一定程度の不安が生じていた時期もありましたが、今はその不安もなく、継続利用しコスト効果などに繋げています。国力とその国の技術力は比例していくものではないでしょうか、弊社は欧米、東南アジアへの食品輸出は行っていますが、まだまだ発展し続けていく勢いを感じたこの中国市場に対し、ますます興味を持ちました。先ずは小さな一歩からでも良いのでチャレンジしていきたいと思います。

<個別視察先報告>

区 分	内 容	
視 察 先 名 称	華環真北隣里中心(食品市場)	
感想・認識変化	市場での買い物は市内のスーパーなどではできない価格交渉やその場で好みのスタイルにカットしてもらうなどの楽しみではないか、と思いました。	
写真・コメント	週明けの月曜日の午前中ということもあり、それほど人が出ていませんでした。しかし、週末や連休前などの時にはかなりの混雑になると売り場の店主が言っていました。	
	売り場の中での一つの感心事として、飲料の売り場に段ボールカートンが使用されず、何本かを 1 纏めにシュリンク包装した状態で積み上げて販売している状況、これは日本製品ではあまり見かけない販売方法ですが、コスト的には効果あり、な気がします。	


区 分	内 容	
視 察 先 名 称	環球港 Ole	
感想・認識変化	主な顧客は 30 代以上の生活の質を追求する富裕層が中心となっている様である。	
写真・コメント	<p>Ole'（オーレ）は、華潤万家グループ傘下の高級スーパーマーケットであり。中国国内で最も規模と実力のある高級輸入食材のスーパーマーケットでもある。</p>	
	<p>当社も取り扱って他の国に輸出している商品が中国でも販売されていました。どこの会社が輸出梱包しているのかわかりませんが、製品に貼り付けられているラベルの作成スキルは高いと感じました。</p>	

区 分	内 容	
視 察 先 名 称	ALDI、上海市内	
感想・認識変化	<p>① ドイツ発の世界最大級のスーパー「Aldi（アルディ）」</p> <p>② 中国版「ウーバーイーツ」</p>	
写真・コメント	<p>この店舗にも当社が取り扱って他の国に輸出している商材が陳列されていました。中国国内でも日本メーカーの飲料製品が多く売られていることが確認でき、日本産の人気は高いと改めて認識した、まだまだ入り込む余地があると思ったところです。</p>	
	<p>スマホを使ったサービスが盛んな中国では、日本よりもフードデリバリーが普及しているため、このような服装をした配達員をいたるところで見かけた。しかし、便利な裏側では過酷な労働環境が実情となっている様である。</p>	

区 分	内 容	
視 察 先 名 称	千霞社区長者食堂	
感想・認識変化	高齢者の生活や健康を支援するために地元政府が作った「社区食堂」	
写真・コメント	運営主体は、地方政府や社区（地域コミュニティ＝町内会）、利益を追求するのではなく、地域の人に低価格で食事を提供することが目的の公益性の高い食堂。	
	退役軍人に対する優遇があるらしい、壁には軍隊を称える肖像画らしきものが掲げられていた。	

区 分	内 容	
視 察 先 名 称	Sam`s クラブ	
感想・認識変化	コストコの競合店舗、会員制の大型量販店である、日本ではまだ出店されていない。	
写真・コメント	店内には、輸入されている日本食品は思ったより少なかった、ビールなどの製品は見つけることができました。また、この店舗の特徴として、ラックサイズ、パレットサイズの統一、ディスプレイカートンなど物流と連携した効率的な売り場づくりの工夫がされていることに感心しました。	
	中国での決済方法は、電子マネーが基本となっており普及率はEコマースで81%である、対して日本は18%と低く、まだまだ現金主体の世の中となっている、ここの売り場では現金決済用のレジすら存在しない店舗であった。電子決済は便利だけでなく店側も安全であり、この点は日本ももっと普及を広めるべきと思いました。	

区 分	内 容	
視 察 先 名 称	龍之夢フーマー	
感想・認識変化	上海最大規模の大型ショッピングモール「龍之夢購物中心」	
写真・コメント	上海最大規模の大型ショッピングモール。中山公園駅と地下通路でつながっているのでアクセス良好。1階の食品売り場では上海の地元食材をたくさん取り扱っている。ユニクロなどの日本のお店も入っていた。週末はかなり混雑する様であり平日にゆっくり買い物をするのがおすすめのとのこと。	
	売り場内には日本から輸入された各社飲料商品が陳列されていた。日本メーカーの商品でも現地生産の品物と日本から輸入の品物は見ればすぐに判別がつかます。売価も輸入品の方が二倍近く高い価格になっていますが、購入者の中には高くても安心感を買っているお客様が多いと言うことから輸入商品は売れているようです。	

区 分	内 容	
視 察 先 名 称	スターバックスリザーブ ロースタリー	
感想・認識変化	「スターバックス リザーブ ロースタリー」は、アジア初で世界最大規模の店舗である。	
写真・コメント	ここの店舗の焙煎スペースでは厳選された高級豆が焙煎されており、その様子を見学することができます。コーヒー豆が焙煎された後、天井のパイプを通じて運ばれていきます。食事やコーヒーを味わいながら工場見学も楽しめる特別な店舗でした。	
	このような広大な店舗展開できるのも広い国土を持つ国ならではの、なところでしょうか、日本にも焙煎工場併設のコーヒーショップもありますが、ここまでの規模は見たことがありません。	